

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	学生・高校生部門
※ブルダウンから選んでください	

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	高山
事前相談日時	2024/4/12 19:30:00、2024/4/26 19:30:00、2024/5/3 14:30:00、2024/5/10 19:30:00
申請可能と言われた日時	2024/5/10 19:30

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	ダイバーシティ人権政策課
事前相談日時	
申請可能と言われた日時	

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。(ブルダウンになっています)

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	
一般部門、団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	

【3】申請者について

団体の名称	ユースの保健室
団体名称のフリガナ	ユースノホケンシツ
代表者	小田波優矢
役職名	代表
氏名(フリガナ)	オダナミユウヤ
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	計 7 名
(内訳)	(1) 市内関係者 7 名 (2) その他 名
設立年月日	2023 年 12 月 3 日 (設立 1 年目)
設立の目的	①心身について気軽に相談し学ぶ場を提供することで、若者が悩みを軽減・解消するとともに、自分自身で健康を維持できるようにするため ②若者に対して包括的性教育を行うことで、若者が正しい知識を持ち、性について自分の意見や意志を持てるようになるため ③社会に向けて様々な活動を行うことで、それぞれが持つ心身の悩みを理解される環境を作るため
活動概要と団体のPR	活動内容としては、SRHR※1の認知活動やワークショップを定期的に開催します。性教育をイベントやユースクリニック、SNSの発信を通して、カジュアルに、知ってもらい、その重要性を私たちの活動によって啓発していきます。現段階では、「生理への理解や情報、婦人科病院のハードルを下げる」というテーマをメインとして活動を行っています。具体的には、自作のポスターを作成し、わかりやすく、簡単に性について、知り、その課題に触れてもらいイベントを開催しています。また、生理痛を疑似的に体験できる機器を使ってワークショップを計画中です。このワークショップを通して、対話を促し、双方の性教育リテラシーやメンタルヘルスリテラシーの推進を行います。今後、SRHRや包括的性教育全体の啓発等の活動を行っていきます。 実績 ・金沢大学「ふむふむフェムテックプロジェクト」に参画し、展示会スタッフを務める ・ユースセンター金沢 ジュウパコに生理用品を寄付1/10 ・生理について学ぶ勉強会兼イベントを実施3/20 ・国際協力NGOジョイセフと連携してSRHRイベントを実施5/11.12 ※1SRHR... 性と生殖に関する健康と権利」https://www.joicfp.or.jp/jpn/known/about_srhr/what_is_srhr/
HPSNSのURL	<a href="https://www.instagram.com/youthclinic_kanazawa">https://www.instagram.com/youthclinic_kanazawa</a> <a href="https://youthclinic-kanazawa.studio.site/">https://youthclinic-kanazawa.studio.site/</a>
担当者連絡先	
役職名	代表
氏名(フリガナ)	小田波優矢(オダナミユウヤ)
住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
携帯電話番号	

※団体連携部門の場合、当該【3】申請者は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として

記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者 部分のみです。

## 【4】企画内容について

提案事業・テーマ	(2) 暮らしづくり																																																																	
企画のタイトル	知る・触れるSRHR 生理痛体験を通した対話イベント																																																																	
事業効果	※特に事業の対象者が具体的にどうなるかを以下に記入してください。																																																																	
現状の地域課題	<p><b>現状の地域課題</b></p> <p>金沢市の未来共創計画、基本方針2「暮らしづくり」の(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進</li> <li>・年齢や性別、障害の有無、国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現</li> </ul> <p><b>今回のチャレンジ事業</b></p> <p>まずは、包括的性教育の中でもすべての人が生涯の暮らしにおいて関係しており、男女共同参画や女性の活躍を推進のキーとなる「生理」や「コミュニケーション」にフォーカスを当て、この事業を協働で行う</p> <p><b>我々が考える金沢市の未来共創計画に必要なこと</b></p> <p>生理課題や包括的性教育が浸透し、誰もが自分の心身の健康に意識を向け、性別や年齢、生理痛の度合い、不妊治療者など関係なく、相互理解のために包括的性教育に関する対話ができ、相互に多様性を認めることができる</p> <p><b>現状の課題</b></p> <p>金沢市では、周囲で生理や包括的性教育について相互に対話し、理解しようとする取り組みやきっかけが不足している</p> <p>1. 包括的性教育を学ぶ機会が少ない</p> <p>金沢市の令和4年度の男女共同参画に関する市民意識調査※1の調査によると、教育現場における男女共同参画推進についての考え方は、「性教育を通して、互いに相手の思いや気持ちを持つことができるようになる」に約30%のニーズがあり、併せても今後の課題であると書かれています。この結果を受けて、学校教育においては子どもたちがジェンダーの視点を持つことができるよう男女平等教育の推進が求められている。と金沢市は述べています。包括的性教育とは、生涯における身体的なだけでなく、SRHR、社会的な規範の理解、差別や暴力、ジェンダーの平等をなくす方法、性を安全に楽しむ権利、リスクに直面したときにアクセスできる方法、健康、相手とのコミュニケーションなど、幅広いテーマです。これだけの幅広いテーマを学ぶには、機会が不足しているため、市民や行政が協働してこの活動をしなければいけないと考えます。</p> <p>2. 包括的性教育の中で日常に関する生理についてもまだまだ理解不足な状況</p> <p>国の男女共同参画社会※2の中に、「生理の貧困」という課題が掲げられてもいます。この課題の原因として、「生理」に対する理解が不足しているという可能性があるとされています。日本財団による「18歳意識調査「第4回-女性の生活」」※3においても、男女ともに、生理に関する様々な知識が必要であるという現状がありながらも、これを主体的に学ぶ場は少ないと示されています。このことから、生理の貧困への具体的な解決策やアプローチは出てきづらい状況にあります。金沢市においても、令和4年度の男女共同参画に関する市民意識調査※4のなかにも、生理というワードが出てきません。金沢で男女共同参画社会・暮らしづくりを進めるのであれば、生理の課題もフォーカスを与えるべきであり、このきっかけ作り・今後の活動において、私たちの事業が必要であると考えます。</p> <p>この課題は日常生活だけでなく、職場でも当てはまります。国の生理休暇の取得率は0.9%であることが示されている。職場においても、まだまだ生理への理解が不足していることがわかります。この課題に対して、私たちは、まずは生理についてインプットし、当事者に対してどんな理解が必要だったか支援が必要であるかを対話によって生み出します。</p> <p>※1 (<a href="https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/42/kanazawa_danjo.pdf">https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/42/kanazawa_danjo.pdf</a>)          ※2 (<a href="https://www.gender.go.jp/about_danjo/society/index.html">https://www.gender.go.jp/about_danjo/society/index.html</a>)          ※3 (<a href="https://www.nippon-foundation.or.jp/gsl/uploaded/2022/02/20220204_01.pdf">https://www.nippon-foundation.or.jp/gsl/uploaded/2022/02/20220204_01.pdf</a>)          ※4 (<a href="https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/42/kanazawa_danjo.pdf">https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/42/kanazawa_danjo.pdf</a>)</p>																																																																	
事業の実施により期待される効果	<p><b>短期的効果</b></p> <p>すでに包括的性教育に関心がある対象者</p> <p>イベントをきっかけに団体と対象者同士の関係性が構築される</p> <p><b>中期的効果</b></p> <p>対象者が自ら、主体的に協力をしながら活動をスタートさせる</p> <p><b>長期的効果</b></p> <p>対象者及び団体が継続的な活動を行うためのコミュニティが市内にできる</p> <p>包括的性教育に関心ない対象者</p> <p>包括的性教育の重要性を知る</p> <p>包括的性教育への意識が高まり、関心を持つ</p> <p>対象者が市内のコミュニティが行っている活動に、自主的に参加する</p>																																																																	
その他	金沢市での生理への理解や関心度を調査も併せて実施したい																																																																	
事業の概要	<p><b>事業内容</b></p> <p>日程：10/19 or 10/26 (仮)          場所：金沢市内の市民交流館（予定）          対象：金沢市内の市民団体（多様な観点から対話するための参加者数）          目的：日常生活における生理、生理への理解不足とそこに伴う課題に対して、①生理について知識をインプット、②生理痛を体験、③参加による気づきの共有を行うこと、④当事者に対して、どのような理解や支援が必要であるかのアイデアを対話によって生み出す。（誰から来てもいいの）          後援：金沢大学総合学域（予定）</p> <p><b>事業詳細と当日のスケジュール</b></p> <p>1 生理を知る・体験する          12:40-13:00 開場・受付          13:00-13:10 イントロダクション          13:10-13:30 インプット          13:30-14:10 生理痛体験</p> <p>2 気づきの共有対話          14:10-14:30 10分休憩          14:30-15:10 グループ対話          ※気づきから気づいた悩みを共有する          15:10-15:30 個人ワーク          ※気づいた悩みを一人ひとりで書き出す          15:30-16:10 グループ対話・体験</p> <p>3 アイデア創出          16:10-16:30 アイデアを考える          ※気づきの共有から生み出したアイデア          16:30-16:50 全体発表          16:50-17:30 20分休憩          ※気づきの共有から生み出したアイデア</p> <p><b>生理痛体験バット</b></p> <p>生理痛体験バットは、金沢大学大学院自然科学研究科 秋田純一先生のもとで製作されたものです。本プロジェクトの代表小田波が金沢大生であり、生理課題が自分ごとになっていない方が生理課題を自分ごととして捉えることができることで、相互理解が深まるのではないかと問いを立て、生理痛を体験できる器具の製作を秋田先生に相談したことをきっかけに製作されました。体験方法はとても簡単で、腹部に器具に繋がれたバットを装着するだけで、器具・バットにサイズは半徑2~3cmほどです。痛みは、身体に影響がない程度の微弱電流を感じることで体験できます。生理痛をリアルに体験できるよう痛み程度の合点は80レベルの調整ができた、複数バットを装着時には各バットで異なるレベルの痛みを感じるなど、生理痛には個人差があることを体験できるようにしています。また、安全性では身体面・工学的検証を十分にしています。（ただし、持病がある方などは使用を控えていただきます。）今回は、初版からアップデートされた改良版を用いて、イベントを行う予定にしています。</p> <p><b>事業の展開</b></p> <p>本事業後は、今回をきっかけに金沢市内の企業や団体の協力を得ながら、継続的にSRHR（まずは生理分野で始める）について話すことができる、受け入れられる場を作りたいことを想定。継続的な取り組みとして、我々のイベントで声やニーズを明らかにし政策提言を行うなど、ゆくゆくは行政との協働にも可能であれば繋げたい。その後、企業、行政、市民、外部専門家とコミュニケーションをとりながら、金沢市の生理や生理課題について取り組み体制を目指しており、まずは第一歩目として金沢市内の企業や既存の金沢市の団体と連携し、包括的性教育の取り組みを実施していく。</p> <p><b>補足</b></p> <p>※フューチャーセッションとは、複雑な問題を解決するために日本で生み出された「参加型イノベーション」の新しい考え方のこと。多様なステークホルダー（利害関係者）を招き入れ、創造的な対話を通して、未来に向けての「新たな関係性」と「新たなアイデア」を生み出し、ステークホルダー同士が「協力して行動できる」状況を生み出す方法論のことで、社会問題の解決、企業のイノベーション創出、地域の活性化などセクターを横断した様々な用途で活用されている。今回は、外部講師としてフューチャーセッションファシリテーターに依頼を行う。</p> <p><b>事業計画と年間スケジュール</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>スケジュール</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画・準備</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>フィードバック・評価</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>イベント</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>その他イベント予定</b></p> <p>①術の保健室/ユーストリニックスの実施</p> <p>若者の悩みを相談しやすいような環境をイベントとして設置します。ここでは、生理用品や避妊具の無料配布を行い、若者のヘルスリテラシーを支援します。スタッフとして、保健室の運営の経験を持つスタッフを募集し、関心のある若者を募集します。</p> <p>②SRHRノートを活かした性教育の啓発イベント</p> <p>国連WFPのジェンダー平等推進計画（SRHR）をもとに「性教育の推進」をテーマにした、イベントを開催します。このイベントは、国連WFPのジェンダー平等推進計画（SRHR）をもとに「性教育の推進」をテーマにした、イベントを開催します。</p> <p>③コミュニティ内でのイベント</p> <p>イベントによってできたコミュニティ内で、異なる性別の若者のためのイベントを開催します。その後、それぞれで進捗を確認を行い、その活動の成果や課題が共有されます。</p>	スケジュール	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	企画・準備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	フィードバック・評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	イベント	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スケジュール	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																						
企画・準備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																						
実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																						
フィードバック・評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																						
イベント	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																						

**企画内容にかかる注意事項**

※単発的なイベントで終わるものではなく、通年的な活動や今後に関わる継続性を考慮した事業を提案してください。

※実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・参加見込数）など出来るだけ具体的に記載ください。

別途資料を添付する場合は、A4サイズをお願いします。

※既存の事業で応募する場合、工夫や改善した点を明確にしてください。

## 【5】事業収支予算書

委託費 100000 円

### 収入の部

(単位： 円)

科目	金額	内訳など
委託費	100000	金沢市から
計【A】	100000	

### 支出の部

(単位： 円)

科目	金額	内訳など
謝金	¥10,220	外部講師とは連携済
備品購入費	¥6,200	イベントのための付箋(1500)/模造紙(2500)/ 爽健美茶(1200)/ウェットティッシュ(900)
材料費	¥32,000	生理痛体験機器作成(8000×4)
交通費	¥39,680	講師の交通費/打ち合わせのための交通費 9920×4
印刷製本費	¥6,900	イベントの実施報告書(4235)/イベントの事前 チラシ(2665)
使用料及び賃借料	¥5,000	展示用のフェムテック用品のレンタル代
計【B】	100000	

【A】収入合計と【B】支出合計は一致（同額）させてください。